

第2回レフェリーアカデミー報告書

福岡県ハンドボール協会所属 荒木隆史

課題①【審判員の心得 10 箇条について】

①リーダーシップ

今回の第2回レフェリーアカデミーでは、富山県ハンドボール協会の堀田氏がリーダーを務め、アカデミー生に指示を促していた。第2回レフェリーアカデミーを受講するよりも前に私は、このリーダーシップの項目で、堀田氏に任せっきりにするのではなく、自分もいつでもリーダーとしての責務を果たせるように心の準備をしておく、という事を目標としていたが、今回の第2回レフェリーアカデミーでは、私に積極性が欠けていることが原因で、今回の目標を実行できていなかった。

今回出た反省点を、次回以降のレフェリーアカデミー、そしてコート上で活かしていかなければならない。

②誠実さ

私は今回の研修会で、「誠実さ」の本来の意味である「私利私欲をまじえず、真心を持って人や物事に対すること。また、そのさま。」という事を意識して、研修会に参加される目上のレフェリーの方々に真心を持って接する、という事を目標としていた。

今回の研修会では、多くの目上のレフェリーの方々とお話をさせて頂く機会があったが、その1つ1つのお話に対して私は真心を持って、誠実に耳を傾けることが出来たので、私はこの目標を実行できたといえる。

③ルールに関する知識

この項目で私は、研修会に臨む前に競技規則を読み込み、ルールをよく理解したうえで研修会に臨むという事を目標としていた。

今回の研修会では、投影された資料映像に対してどのようなジャッジを下すべきかといったプログラムがあったが、その一つ一つの映像に対して、競技規則通りの判定を下すことが出来たので、私はこの目標を実行できたといえる。

④冷静さ

この「冷静さ」の項目で私は、目上のレフェリーの方々とお話をする際は、緊張するかもしれないが、平常心を保って落ち着いて話をするという事を目標としていたが、今回の研修会で目上のレフェリーの方々とお話をする際、私は落ち着いてゆっくりと丁寧に話をする事が出来ていたため、この目標を実行できたといえる。

⑤正しい判断

私はこの項目で、今は何をすべき時なのか、どのような行動をとるべき時なのかという事を意識して、常に最善の正しい判断をすることを心掛ける、という事を目標としていた。

今回の研修会では細かく時間計画が設定されており、主催者の方々のお話をよく聞いて、その順序通りに行動することができ、また常に正しい判断をすることを心掛けることが出来ていたのも、私はこの目標を実行することが出来たといえる。

⑥身体上の適正

私はこの項目で体調を万全にし、また日頃からレフェリーとしての身体づくりをして、常に備えの姿勢を取って研修会に臨むという事を目標としていた。

研修会当日、私は万全の体調で、体重も規定値を超えないよう調節して研修会に臨むことが出来ていたが、研修会初日のシャトルランテストで、前回レフェリーアカデミーよりも4回ほど記録を落としてしまっていたので、日頃のフィジカルトレーニングがまだ足りていないことを痛感した。

次回以降のレフェリーアカデミーでは記録を伸ばせるよう、さらにランニングトレーニングに励むようにしなければならない。

⑦ユーモアのセンス

私はこの項目で、ナショナルトレーニングセンター内ですれ違った方々と、笑顔をまじえながら挨拶をし、緊張する場面と緊張を和らげる場面とでメリハリを付けることを目標としていた。

研修会当日、私は笑顔をまじえながら元気に挨拶することができ、また会話にまで発展させることが出来ていたのも、私はこの項目を達成できたといえる。

⑧勇気

この項目で私は、研修会の中で勇気を出して質問や意見などをいつでも発言できる準備をし、積極的な姿勢で研修会に臨むという事を目標としていた。しかし研修会2日目に質疑応答の時間があつたが、私はこの時間、目標を実行することが出来なかった。

実行できなかった要因として、私に研修会の質疑応答の時間に質問をする勇気が無かったことが挙げられる。また、質問をする心の準備が出来ていなかったことが挙げられる。

次回以降のレフェリーアカデミーは、この勇気という項目に特に留意して臨むようにしなければならない。

⑨協調性

この項目で私は、助け合いの精神を持って研修会に臨むという事を目標としていた。

研修会当日、私はアカデミー生同士でお互いに協力して、受付や机・椅子のセッティングなどの運営を行うことができ、またシャトルランテストの際もお互いに励ましの言葉をかけ合いながら臨むことが出来ていたのも、私はこの目標を実行できたといえる。

⑩仲間意識

この項目で私は、研修会に参加されているレフェリーの方々は、所属しているハンドボール協会は違えども、それぞれが持っている関心は共通しているので、そのことを念頭に置いて、仲間意識を持って研修会に臨むことを目標としていた。

研修会当日、私は自分とは異なるハンドボール協会に所属しているレフェリーの方とも、仲間意識を持って積極的に会話することができ、また意見共有もすることが出来ていたのも、私はこの仲間意識の項目を実行することが出来たと感じている。

課題②【今後の大会に向けて】

私は7/21に福岡県福岡市にて行われる日本選手権予選に向けて、GRとしての仕事を理解し、実行することを課題とする。

この課題を設定した理由として、私はこれまでの大会を吹笛する中で、GR時にボールを追ってしまっており、GRとしての本来の仕事を遂行することが出来ておらず、エリア際とPVの攻防の事実判定を曖昧にしているという事を、第1回レフェリーアカデミー時に講師の方に指摘して頂いたからである。

今回の全日本研修会で福島審判長が仰っていたように、攻撃側の違反行為を見逃すと、結果的に防御側の違反行為として判定してしまう恐れが生じてしまう。不正をした選手が有利になるような試合展開を無くす為、私はこの課題を設定した。

次に日本選手権予選に向けて、この課題をクリアするために、これから何をすべきかという事についてだが、この課題をクリアする為にまず私がやるべきことは、普段の練習でGRの位置に立った際にCRを信用し、ボールは追わずにエリア際とPVの攻防を集中して見ることに徹することである。これを普段の練習で吹笛する中で、習慣化できるよう努めるようにし、日本選手権予選の際に実行しなければならない。

また、動画を用いた練習も行うべきであると考え。動画サイト等でトップレフェリーが担当しているハンドボールの試合を見て、その際GRがどの位置を見ているのかという事について注意して見ることで、GRの仕事が理解できてくるのではないかと考えられる。またこの際、GRの横動きについても参考にしなければならない。

以上、日本選手権予選までに私が設定した課題をクリアするためのプロセスについて、述べてきたが、意味なくフリースローにしたり、安易に選手に罰則を与えないためにもGRの仕事は完璧に理解しておかなければならない内容である。

日本選手権予選までに残された時間はあまり無いが、限られた時間で出来る事を全力で行って試合に臨もうと思う。